

## 【ウィナーズカップ競技規定 2008】

- 1 代表者会議で説明または決められた事項はチーム全員に必ず徹底させること。
- 2 特に定められた以外は2008年度公認野球規則による。  
【注】グラウンドルールを必要とする会場は、立会いチーム・審判員協議の上で適用する。
- 3 試合方法
  - 1 試合時間1時間30分。
    - ① 1時間20分以降新しいイニングに入らない。
    - ② 5回以降得点差7点以上はコールドゲームとする。
    - ③ 降雨のため試合続行不可能のときは5回以降コールドゲームを適用する。
    - ④ 上記③の条件に満たないときは、ノーゲームとし後日再試合を行う。
  - 2 予選リーグ戦適用事項
    - ① 勝点順位制としA・Bブロック上位3チーム、C・Dブロック上位1チームの8チームで決勝トーナメントを行う。
    - ② 同勝点の場合、得失点差の上位のチーム。
    - ③ 上記②でも決しない場合、抽選による。
  - 3 決勝トーナメント適用事項
    - ① 試合時間内に勝敗が決しない場合、全軟連特別規則二、延長戦2、(2)・(3)を適用する。  
【注】準決勝まで二延長戦(2)を1イニング行い(3)を適用し決勝戦は(2)を適用する。
    - ② その他「3-(1)」を適用する。  
【注】決勝戦は「(1)-(2)」は適用しない。
    - ③ \* 決勝トーナメントの組合せは進出8チームによる抽選で決定とする。
- 4 試合の有無
  - (1) 天候による試合の順延・変更は試合当日に決定。  
【注】第一試合の選手・審判は30分前に会場に集合のこと。
  - (2) 順延・変更の決定権は、立会いチームが有する。
  - (3) 順延・変更の確認(第2試合以降)は各チームにて立会いチームに連絡の事。
  - (4) 試合の有無について会場への問い合わせは一切厳禁する。
    - 5 試合中止の場合、その試合の開催期日、会場については実行委員から連絡する。(確認はホームページにて)
    - 6 試合日程の賛否は連盟・大会事務局に2週間前(事務手続き上)に連絡の事(厳守)。但し、事務局は試合の組替えは行わない。
- 5 試合球
  - (1) 公認O健A号ボールとする。
  - (2) 各チーム持ちよりとし、ニューボール2個(雨天時3個)を試合当日提出する。
- 6 用具
  - (1) バットは全日本軟式野球連盟公認(J.S.B.B)のマーク入りであること。
  - (2) グラウンド内で素振り用バット(マスコットバットを含む)の使用は許されるがグラウンド内の地面に置くことは許されない。  
【注】素振り用としてリング・鉄パイプなど危険と思われるものを試合会場への持込を禁止する
    - 3 捕手は危険防止のため必ず全日本軟式野球連盟公認マスク・ヘルメット・レガースを使用すること。
- 7 抗議権・タイムの要求
  - 1 抗議できるものは、監督及び主将とプレイヤーのみとする。但し、規則適用上の問題に限る。
  - (2) タイムはプレイヤーの要求したときでなく審判員の認めたときである。
    - 3 守備側からのタイムで試合が停止されたときは、その間投手は捕手を相手に投球練習することは許されない。
- 8 選手登録
  - (1) 選手登録されたもの以外は、試合に出場できない。  
【注】主審と対戦チームの同意があれば、当日欠員の場合1名に限り認める。
  - (2) 選手登録されていてもメンバー表交換の際、記載のない選手は試合に出場できない。
  - (3) 選手登録の変更時期は以下とする。
    - 一次: 春季代表者会議～開会式当日まで。
    - 二次: 予選リーグ終了後～決勝トーナメント前日まで。
    - ①: 大会参加に関する変更は、書面をもって手続きの事。手続きは連盟・大会事務局か実行委員に提出。
- 9 審判委員
  - (1) 参加チームは審判委員を登録し、試合準備等大会運営に協力すること。
  - (2) 審判委員は、各チーム3名選出し主審は日程表左側(1塁側)のチームが努める。
    - 3 審判委員は試合前/両チームにボールの提出/先・後攻の決定メンバー表の交換(登録名簿確認)/水撒きを行うこと。  
【注】メンバー表・登録名簿は大会事務局で用意します。試合後、結果報告書を提出
    - 4 グラウンド整備、ライン引きは試合前(後)対戦チーム同士が行いチームの代表者が(ベンチを含む)確認をする。  
【注】実行委員は補助しません。
- 10 不戦敗規定(ペナルティ)
  - (1) 試合成立人数(9人)未達。
  - (2) 審判員不在(3人未満)。
  - (3) 試合日連絡なく不出場。
  - (4) 試合開始時間遅れ。(5分前集合をかけ、試合開始の宣告をする。)  
【注】「(2)・(3)・(4)」に該当したチームは5,000円の罰金、次期試合出場停止(1試合)、指定試合の審判(6名)を段階的に科す。
- 12 勝点方式  
勝利チームは3点、敗者チームは0点、引き分けチームは1点とする。
- 11 規定変更
  - 1 規定変更は、代表者会議の2/3出席(委任を含む)と1/2以上の同意により決定する。(実行委員改選も含む)

【 競技規定・内規 2007 】  
大会参加義務事項

- 1 野球帽・ユニフォームの着用、背番号貼付。
  - (1) 未着の場合、不戦敗も認められる。  
【注】審判委員は、当該チームの責任者に改善を求めること。
  - (2) ポイント式スパイクの使用を奨励する。
  - (3) 参加選手の背番号の内、監督30番・主将10番にすることを推奨する。
  
- 2 試合における申告事項はメンバー表交換の際に伝達し、了承を得る。  
【注】主審・相手チーム代表者。
  
- 3 ストライク、ボール、アウト、セーフ、フェア、ファールなどの判定に対する抗議・相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次は厳禁する。
  
- 4 審判委員の服装は、野球帽・グラウンドコート(又はジャンパー)もしくはユニフォームの上着を脱ぐ・運動靴の着用。
  
- 5 試合場
  - (1) 使用に際しては、実行委員の指示に従う。
  - (2) 試合時には、ゴミ袋等持参して、ゴミは持ち帰ること。
  - (3) たばこは灰皿のある場所以外では吸わないこと。  
【注】ベンチ内禁煙
  - (4) グラウンド以外では、スパイクを履かないこと。
    - 5 最終ゲームのチームはグラウンド・ベンチの後片付けを行うこと。
    - 6 各会場における駐車場所では、地域住民の迷惑にならないよう十分に注意する。【注】近所迷惑になるような、大声・音響・エンジン音等騒音にはお互いに注意すること。
    - 7 大会本部には、実行委員・代表者以外は立ち入り禁止とする。
  
- 6 安全面から救急箱の携帯を奨励する。また、万一の事故に備えて各チームでスポーツ保険に加入することを奨励する。  
【注】大会中の事故及び負傷については、各チームにおいて処理すること。実行委員はその責に応じない。
  
- 7 特別事項  
大会の日程において、5月3・4・5・6日は試合を行わない。  
開会式について  
4月29日 金屋野球場 8:30～  
各チーム 3名出席 帽子・ユニフォーム着用厳守